

# はねっと 5

## 仙台市市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

“ぱれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



仙台をワクワクさせる人物をご紹介します

### 元気を必要としている人に 楽しいアートで力を

NPO 法人ワンダーアート 事務局ディレクター

すずき ゆい  
鈴木 唯さん(45)

「ささやかでも、辛いことと向き合うための大きな力になれば」と話すのは、NPO法人ワンダーアートの鈴木唯さんです。ホスピタルアートを中心に様々な活動を行っています。ホスピタルアートとは、医療現場にアートを取り入れる試み。無機質で緊張感を与えがちな雰囲気を緩和させ、患者や働く人に癒しを与えます。絵を飾ったり、明るい壁紙に変えたりするなど、内装に取り入れられることが多い一方、ワンダーアートでは、実際に創作を行うプログラムに力を入れています。その一つが、入院中の子どもと一緒に人形を作る「ハッピードールプロジェクト」です。受け身の生活にならざるを得ない入院児のために、ワクワクするような色や柄の布を準備。子ども自身が好きな材料を選びます。「面白そう」「やってみたい」を引き出すために、道具は針と糸からホチキスまで、その子に合ったものを用意。お手本や決まりはなく、思うままに表現する楽しさを伝えています。「入院中は痛いことや、我慢しなくちゃいけないことの連続。辛いことを楽しい時間でおおってあげられたら」と話します。

アートに関わる仕事を夢見ていた鈴木さん。転機は2008年、新聞に掲載されたホスピタルアーティスト(ワンダーアート代表)の高橋雅子さんの記事を目にしたことでした。「アートと病院をつなぐ取り組みに衝撃を受け、すぐ電話をかけた」といいます。幼児期に入院を経験していた鈴木さんにとって、辛い時こそ非日常的な時間が救いになることを、

誰より実感していたからです。

「プログラムを行った相手の数だけ、忘れられないエピソードがある」と活動を振り返る鈴木さん。「さらに勉強して、一人ひとりに合った接し方を工夫したい」と抱負を語ります。

### NPO 法人ワンダーアート

療養中の子ども、被災者、障がいのある人など様々な人に向けて、アートプログラムを通じた応援活動を続けています。東日本大震災をうけて始動した緊急支援チーム「ARTS for HOPE」では、老若男女問わず多くの被災者と共にハッピードールを創作。障がい児をはじめ多様な子どもが参加できる創作スタジオなども展開中です。

団体HP▼







「協働」地域の課題を解決するために、様々な立場の人たちがコラボレーションする取り組みをご紹介します

## 古紙回収の売上金で、地域活動の支援に挑戦

資源循環型社会の実現を目標に掲げる大学生と企業がタッグを組み、リサイクルを活用することで、地域課題解決に挑戦しようという取り組みがあります。2021年3月21日から4月3日、仙台市太白区のみやぎ生協太子堂店の敷地内にて、古紙回収イベントが開催されました。主催したのは、日ごろからリサイクル推進・ごみ減量啓発活動に取り組んでいる東北工業大学「環境サークルたんぼぼ」(以下、たんぼぼ)と、古紙回収事業などを行っている株式会社SKホールディングスです。古紙回収ボックスに持参された新聞や雑誌が等から得られた売上金の一部を同社が寄付します。寄付先は仙台市太白区の地域食堂「おりざの家」です。

両者の出会いは、仙台若者アワード2020協働部門でした。若者の力を借りて、地域に根差した社会貢献に挑戦したいSKホールディングスが連携先を募集。これに、これまでとは違った方法でリサイクル促進に挑戦したい、たんぼぼが応募し、連携が実現しました。

SKホールディングス広報の須貝祐美さんは、「たんぼぼとミーティングを



重ね、意見を出してもらい、今回の取り組みに挑戦できた。これをモデルにリサイクルでできる社会貢献の可能性を広げたい」と話します。たんぼぼ前代表の松峯快成さんは、

◀市民が持ち込んだ古紙を運ぶたんぼぼメンバー

「リサイクルを活用して、地域活動の支援に挑戦できた。また連携できる機会が持てたら嬉しい」と話します。

<仙台若者アワード>

仙台で活躍する若者団体の活動を知るきっかけとし、若者が活躍できる仙台をつくるため、仙台市、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社、一般社団法人ワカツクが協働で取り組む表彰イベントです。2020年からは、協働部門を設置。仙台の地元企業と、社会課題の解決のために活躍する若者団体とのコラボレーションにより、SDGsの達成に寄与する活動を生み出すことを目指し、テーマに沿った活動プランを募集しています。



▲古紙回収イベントをPRする松峯さん(中央)

東北工業大学環境サークルたんぼぼ  
Twitter@環境サークルたんぼぼ



SKグループ 株式会社SKホールディングス  
仙台市宮城野区岩切分台 1-8-4  
TEL 022-211-4877 FAX 022-211-4878



サポセン蔵書から活動に役立つ書籍をご紹介します

## RE:プロジェクト通信記録集

仙台の沿岸部、そこに何があったか、みなさんは覚えていますか?本書は、東日本大震災後に、仙台の東部エリアに暮らしてきた方々のお話を「聞き書き」した記録集です。集落ごとにフリーペーパーとしてまとめたものに加え、著者らが5年目、7年目に再訪した際の取材内容も収録されています。もう住むことの出来ない災害危険区域に、これから観光施設が続々できる予定です。そこに暮らしがあったことをふと思い出す手がかりとなる一冊です。

編集 西大立目祥子 武田こうじ 田澤紘子(公益財団法人仙台市市民文化事業団)  
発行 公益財団法人仙台市市民文化事業団



## つながる つなげる サポセン

### 仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 5月12日(水)、26日(水)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00  
日曜日・祝日 9:00-18:00  
休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3  
TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042  
[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>  
[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは  
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行 仙台市市民活動サポートセンター (指定管理者: 特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター)  
発行日 2021年5月1日  
デザイン PEACE Inc.

[ Twitter ] @SCSC4CA  
[ YouTube ] サポセンちゃんねる

